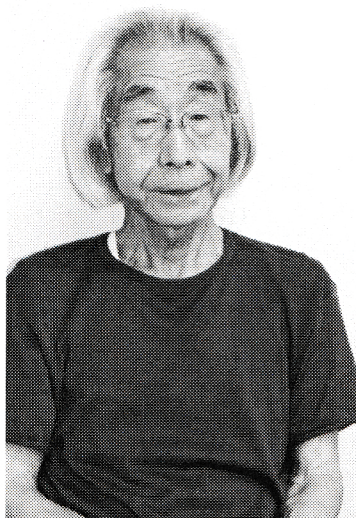


わたしの一日

西日暮里にある『ヴィ
トロー・ミニヨン ステン
ドグラス教室』を拠点と
し、ステンドグラス作家
として活動する高島平在
住の奥田晃三さん（78
歳）。アーティストバン
クいたばしにも登録さ
れている。

ステンドグラス作家

奥田
晃三さん



奥田さんは仕事が変わ
ったことで大阪から上京
し、高島平団地の入居一
期に移住。当時は経営コ
ンサルタントとして働
き、そのなかで知り合い
「ラジコンで遊んでいた
と親しくなった人と、店
でも作るか」という話に
なった。そして経営コン

サルタントは続けながら
「たかも」の愛称で親しま
れた「高島平模型店」を高
島平駅前を開店。「二足の
わらじを履いていたが、
そのうち「スパーカー」
「ガンダム」ブームなどが
やってきて模型店一本に
した。それから37年間、
同店を営み「元はラジコ
ンをメインにしていた店。
店としてはブランド

を確立しやることはやっ
たかな」と閉店を決めた。
その3年ほど前から
「次にやりたいことを探
していたところ、ステン
ドグラスが面白そうだ」
と興味を持った。元来も
のづくりが好きで「手を
動かしたかったし、コン
テスト用の飛行機やヘリ
コプターの色使いと通じ
るものがあった」とステ
ンドグラスを学び始め
た。「普通は与えられたテ
ーマで作品作りをする
が、そこは自分の好きな
ものを作らせてもらえ、
使うガラスの材料代だけ
で無駄もなく、自分に合
っていた」と現在も拠点
とする教室に所属する。

奥田さんは、ガラスの
縁に銅のテープを巻いて
はんだ付けして作る「テ
ィファニースタイル」を
得意とし、かさだけでな
く胴体もステンドグラス
で作った、オリジナルの
『ドラゴンフライグラス』
は代表作の一つだ。8色
から10色の色を流して作
る、本場のドイツやアメ
リカのガラスが織りなす
表情は格別で「デザイン、
ガラス選びが楽しい。作
品に火を入れる時はワク
ワクする」と話す。

また、過去にPC98の
ソフトウェアコンテスト
優勝の経験を持つ奥田さ
んは、ステンドグラスと
PCの融合を目指した今
まででない表現様式も追
求している。モノの『睡
蓮』をステンドグラスの
パネルにし、後ろにLED
Dライトをほりつけてパ
ソコンで光の加減を操作
して、朝から夜までの池
の表情を表現。アニメー
ションの技術を駆使した
この作品は「制作に2年
かかった」という力作だ。
今は「1200から1

500のガラスピースを
使って、筆づかいをどう
表現するか」とゴッホの
『星月夜』に挑戦している
奥田さん。異なる手法を
1つの作品の中に取り入
れて完成を目指してい
る。「作ることが好き。考
えては作っての繰り返し
し。手を動かしていると
静かな男ですから」と笑
う。「自分が面白いと思っ
たことを突き詰めていき
たい」。ますます創作意欲盛
んな奥田さんだ。

コーヒーって楽しい!!
コーヒー豆販売中 日曜・祭日も営業
COFFEE
ALE エールコーヒー
高島平 1-74-7
いいまめいっばい
0120-110181

2015新参者（見ゆん）
ができる。